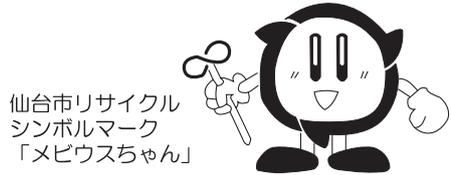


仙台メビウス通信



仙台市リサイクル
シンボルマーク
「メビウスちゃん」

● 編集・発行 仙台市環境局廃棄物管理課
● 電話 022-214-8227

あなたとわたしの声をつなぐクリーン仙台推進員のコミュニケーション情報誌

「市施設見学会」と「ごみ分別博士養成講座」を開催しました。……………	1P
シリーズ* こんにちは推進員さん⑮ / メビウスちゃんの豆知識……………	2P
シリーズ* こんにちは推進員さん⑯……………	3P
仙台市環境局からのお知らせ / 「ごみ集積所排出実態調査」が終了しました。……………	4P



↑かみそりの替え刃が入ったプラ容器(右)は刃と一緒に「家庭ごみ」へ。それが入っていた外側容器(左)は「プラスチック製容器包装」へ。(推進員が持参したものから紹介)

「市施設見学会」と「ごみ分別博士養成講座」を開催しました。

十一月九日から八回にわたって、推進員を対象にした「市施設見学会とごみ分別博士養成講座」を開催しました。

「市施設見学会」では、家庭から出るごみの行方を学ぶため、松森工場と、石積埋立処分場を見学しました。

「ごみ分別博士養成講座」では、自宅にある「分別方法が分からないもの」を持ち寄り、「日ごろから疑問に思っていること」を話し合ったりしました。「プラスチック製品はプラの収集日には、なぜ、出してはいけないのか」「『紙』のマークが付いていても、紙類の収集日に出せないものがあるのはなぜか」など、参加者の皆さんが、日ごろから疑問に思っていたことについて、環境事業所職員が解説しました。班毎の話し合いの後には、各班で出された話題を、劇仕立てで発表していました。

「冊子「資源とごみの分け方・出し方」を加工して、携帯して町内の人に説明しているという方もいらっしゃいました。」

こんにちは推進員さん⑩
「集積所を移設して…そんな要望を、座談会で解決」
 宮城野町会

平成十九年から推進員を務める亀森久信さんは、現役時代は仕事人間で、町内との交流がなかったのですが、推進員活動を通して、今では「ごみのこととお世話になっていきます」と話しかけられるほどになりました。

「私がこのように活動できるのは、本当に、町内会やメイトの皆さんの協力のおかげです」と亀森さん。



→集積所巡回の際には、七つ道具をセットした自転車に乗った姿で。



さて、昨年十月、宮城野環境事業所から「ご近所の方から、家の前にある集積所から汚水が流れてきて臭いので、集積所を移設してほしいとの電話が入ったのですが…」そんな連絡が、亀森さんに入りました。

宮城野町会では、集積所を使っている世帯の中からそれぞれ一人、メイトを選出しています。亀森さんは、問題の集積所を担当しているメイトの今野さん、町内会組長の森屋さんと話し合い、集積所を使っている十五世帯の座談会を企画することにしました。

座談会には、なんと十三人が参加。もちろん、困っているご本人も出席しています。まずは、今、集積所でどんな問題が起きているのかを説明。集積所の見えないところに住んでいる方々にも、集積所の前のお宅が、どんな風に困っているのか、理解してもらいました。

メビウスちゃんの豆知識



Q 納豆のパックは「プラスチック製容器包装」ですよ。それは分かっているんだけど、ベトベトしていて汚れがなかなか取れなし、ついつい家庭ごみに捨ててしまっているんですが…。何かいい方法はありませんか？

A 確かに、納豆のパックを、流水でそのまま洗おうとすると、ベトベトしているのがなかなか取れませんよね。でも、水に浸して5分～10分そのままにしておくと、あら不思議。ちょっと水で流すだけで、すぐにキレイになっちゃうんですよ。ぜひ、ご自宅で試してみてください！

話し合いが進み、近くの緑地帯にごみ集積所を移そうとの意見が出る中、「あの緑地帯はスタジアムからすぐの道路沿いだよね。ポイ捨てがますます増えてしまう心配もある。それに、今回問題になっているのは汚水のことですよ。汚水はごみの出し方の問題だから、移設しても解決しないし…。一体誰が集積所の管理をするの？この班ではメイトさん一人がやっているけど、ほかの班では利用している

みんなが当番制で管理をしていますよ」亀森さんは、集まった皆さんに、そんな言葉を投げかけてみたのです。

結論が出なかった座談会から二週間が経ち、亀森さんがどうなったか、メイトの今野さんに尋ねてみると、早速、清掃当番制が導入されていました。

要望が出てから四カ月経過した今、清掃当番制は定着し、集積所を移設することができました。問題を解決することができました。

「通り返りのポイ捨てに
対しても、責めない！」

堤町共栄会

こんにちは推進員さん⑬

山田孝蔵さんが推進員になつたのは、一昨年四月のこと。「まづ気付いたのは町内会長ご夫妻が、いつも集積所を掃除してくれていること」これではいけないと早速、町内会理事会で、メイト制度を導入することを提案。集積所の近くに住む理事さんに、メイトを引き受けてもらうことにしました。

「無理をしない範囲で活動してもらおうことで了承をいただきました」と山田さん。共稼ぎの方には、ネットの片付けは帰宅時でも構わないと伝えたのです。そしてまずは現状を皆で把握するため、ごみ排出状況調査を実施。「町内会独自の調査を、八月から九月にかけて実施しました」調査結果は集計して、その



10	日東産信前	山田推進員
11	菊田宅前	山田推進員 菊田協力員
12	若生宅前	山田推進員
13	松崎宅前	山田推進員
14	末永宅前	大和会長(メイト)
15	若生アパート前	大和会長
16	ウイングハイツ前	大和会長 千葉協力員
17	神原宅前	大和会長 今野協力員
18	ロングライフ前	相沢推進員 菊田協力員

ごみ置場等への対策として仙台市環境事業局から委託
仙台市クリーン推進員 2名 相沢、山田
仙台市クリーンメイト 6名 大和会長 他
協力員やごみ置場を利用して自主的に協力している方

←自主的に集積所管理の協力をいただいている十人のお名前を「協力員」としてリストアップ。町内会としてきちんと把握しています。

都度、理事会に提出します。

「不思議なもので、調査の終わりの頃には、排出状況が良くなってきました」と山田さん。集積所の近くに住む方々も、自然に掃除などを手伝ってくれるようになりました。

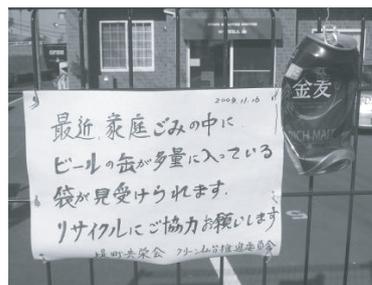
アパート住人の割合が全体の四割を超える共栄会では、ルール違反からごみの散乱が問題になることも。アパート敷地内にあったネットだけの集積所でもごみの散乱が問題

になりました。青葉環境事業

所にも苦情の電話入りました。山田さんは自ら動いて不動産会社と話し合いを持ち、工作物を置かせてもらうことに成功。「集積所は自分たちの問題ですから。町内会に負担がかからないように、手作りの簡単な工作物を作りました」

「山田さんから常に言われているのは『責めない』ということなんです」とは、自らもメイトを務める町内会長の大和かつみさん。道路沿いにはばかり

↓気になったポイントはすぐにはり紙して周知。時には現物も展示します。



ごみ集積所がある、この町内では、通りすがりのポイ捨てが後を絶ちません。それでも、誰かを責めたりはしません。

「責めていたのでは、掃除するのもいやになります。ましてやご近所の方を責めるようでは、住みづらい町になってしまいますよね」と山田さん。「それよりも、場所をお借りして集積所として使わせていただいているのですから、感謝の気持ちできれいにすることだけ考えようと呼びかけています」

皆さんの「責めない」気持ちに周りに自然と伝わり、きれいな町づくりが進んでいます。



「資源とごみの分け方・出し方」は、三月中に戸別配付します。

平成二十二年度版の冊子「資源とごみの分け方・出し方」を、三月中旬から下旬にかけて、配送業者が直接各戸にお届けしま

平成21年度「ごみ集積所排出実態調査」が終了しました。

～ご協力ありがとうございました～



今年度の調査(10～11月実施)は、約1,500名の方々に、約1,600カ所のごみ集積所を調査していただきました。調査にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。調査内容は、通信と同封してお送りした「平成21年度ごみ集積所排出実態調査結果」をご覧ください。

この調査の目的は、①町内の方々にごみ減量・リサイクルの推進、環境美化等についての関心を高めてもらう ②推進員・メイトの活動状況を、ほかの住人にアピールする ③集積所の状況を把握することで、地域の特徴をつかんでもらい、今後の推進員活動の足がかりにしてもらう ことです。

なお、個別に記入いただいた要望などには、順次、各区の環境事業所が対応していますので、事業所職員が連絡を差し上げた際にはよろしく願いいたします。

す。三月下旬になっても届かない場合は、廃棄物管理課へご連絡ください。なお、四月以降に市内に越してこられる方々には、不動産会社店舗や区役所戸籍住民課窓口などで配付します。また、町内会でご使用になるなど必要な場合には郵送しますので、お住まいの区の環境事業所、または、廃棄物管理

課へご連絡ください。

「資源とごみの分け方・出し方」
外国語版もあります。

英語、中国語、韓国語の冊子を、「資源とごみの分け方・出し方」を、ご希望の方に配付しています。問い合わせは、最寄りの環境事業所、または、廃棄物管理課へご連絡ください。

環境事業所のご案内

青葉環境事業所	277-5300
宮城野環境事業所	236-5300
若林環境事業所	289-2051
太白環境事業所	248-5300
泉環境事業所	773-5300



〇〇〇編集後記〇〇〇



◆そろそろ引越しのシーズン到来ですね。引っ越し人のために、粗大ごみ・臨時ごみの出し方について、はり紙や町内会報でお知らせしていただいている町内会も多いのでは…。それでも不法投棄されてお困りの際には、環境事業所にご相談ください。(中西)
◆寒さの厳しい時期ですが、皆さま風邪等は大丈夫でしょうか。栄養のあるものを残さず食べれば、風邪を予防し、出すごみも減り、一石二鳥?になります。皆さま健康に気をつけながら、これからもきれいなまちづくりのためにご協力をよろしくお願いします。(尾形)